



「湖の子」食育学習

活動のねらい ●「食育」では、「湖の子」給食で食べた食材の生きている映像を見るとともに、捕り方や料理の仕方を学ぶ体験をとおして、感謝の気持ちを持って琵琶湖の幸を食べ、さらには自然を大切にしようとする心をはぐくむ。	【時期】 通年
	【場所】 学習室、活動室
	【時間】 約30分
	【準備物】 パソコン、プロジェクター、スクリーン、 筆記用具

主な活動の流れ

事前学習

- 琵琶湖産の食材についていろいろな人に聞いたり、学校や「湖の子」給食の献立表を見たりして調べる。
- 調べたことを発表し、食したことのあるものを交流する。

琵琶湖の恵み、地元食材について考えよう

フ ロ ー テ ィ ン グ ス ク ー ル

- ① 「湖の子」給食で食べた滋賀県産の食材について確認する。
※滋賀県産の食材については、夕食時に所員から「地産地消の話」の中で説明がある。
※食堂の写真パネルを活用することができる。
- ② プレゼンテーションで「食育問題」をする。
 - ・全6問の問題に挑戦する。
 - ※「湖の子」給食時に滋賀県産の食材の紹介をする。そうすることで、ただ食べるのではなく、関心をもって食べることができる。
 - ※映像を使った食育問題では、答え合わせのとき、答えの食材に関わるいろいろな豆知識が出てくるので、メモをするように指導する。



事後学習

- 食育学習で新たに知ったことや、食材について自分で調べたことなどをまとめる。
- 学校給食の中での滋賀県産の食材を調べ、地産地消について考える。